コントラストグレアテスター

TAKAGI

CGT-2000

「見え方の質」を客観的に捉え、
医師の診断と患者さんへの説明を支援

- 視力検査だけでは捉えにくい「見え方の質」を可視化
- 直感的な操作画面でスムーズな検査フローを提供
- 検査結果をグラフで分かりやすく表示

Serving Your Vision

CGT-2000は、コントラスト、グレア、および4種類の検査距離など日常生活に即した見え方の質を定量的に評価します。白内障手術前・手術後や屈折矯正手術前・手術後のコントラスト変化の評価にも適しています。

スムーズで効率的な検査フローを実現

こだわり POINT

分かりやすい操作画面

操作画面は直感的に操作できるよう設計されており、スムーズな検査をサポートします。

こだわり POINT

視標提示の効率化

視標の提示時間や提示間隔は調整可能で、患者さんの状態やペースに合わせた測定を行えます。

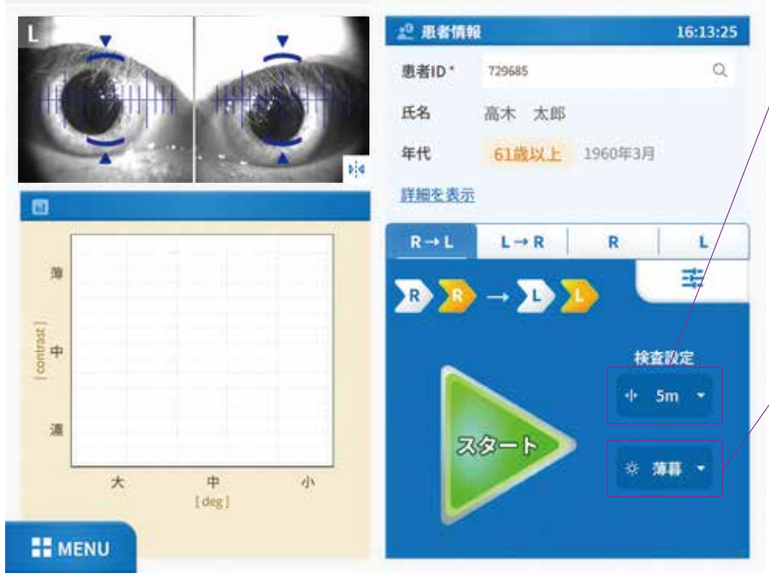
こだわり POINT

カスタマイズ機能

患者さんの状態や検査の目的に応じて、検査眼や明るさなどの検査項目を自由に組み合わせて設定できます。検査パターンは最大8パターンまで保存でき、あらかじめ登録しておくことで、検査ごとの設定作業を簡略化できます。

実生活に近い条件でコントラスト感度を評価

患者さん一人ひとりに合わせて検査条件を変更することができます。日常生活で感じる見えにくさやまぶしさを可視化し、見え方の状態把握をサポートします。



こだわり POINT

検査距離変更機能

検査距離を30cm、60cm、1m、5mに切り替えることで、距離の違いによるコントラストを検査できます。多焦点眼内レンズ挿入眼の評価にも適しています。

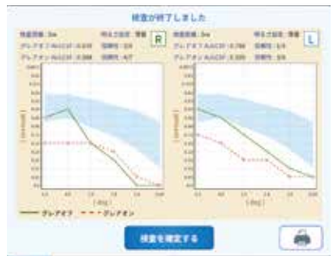
こだわり POINT

背景輝度変更機能

検査環境の明るさを明所・薄暮・暗所から選択できます。多焦点眼内レンズ挿入眼の評価や屈折矯正手術前後の評価に適しています。

理解しやすいグラフ表示

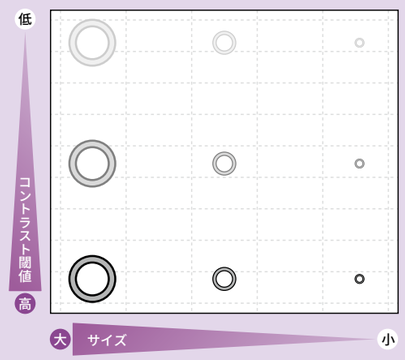
検査結果をグラフで表示し、推移をひと目で把握しやすくなります。過去データとの比較も行いやすく、経時的な変化の確認や患者さんへの説明にも役立ちます。



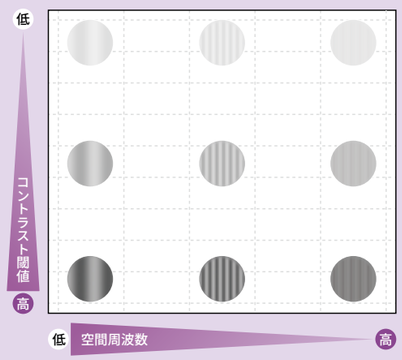
2種類の視標

CGT-2000は、二重リング視標と正弦波視標を搭載しています。
正弦波視標は、MTF*を用いた視機能検査に対応しています。

*MTF：空間周波数特性（Modulation Transfer Function）



［二重リング視標］



［正弦波視標］

製品詳細はWEBサイトへ

検査について

本装置は、二重リング視標、または正弦波視標を用いてコントラスト感度を検査します。視力検査だけでは捉えにくい患者さんの見え方の質を客観的に評価することで、例えば白内障手術の時期の参考や、術前・術後の変化をとらえることができます。
さらに、グレア（まぶしさ）による見えにくさ（コントラスト低下）を評価することで、患者さんの生活環境に近づけた検査が可能です。結果はグラフ表示され、患者さんにも理解しやすいものとなっています。

クリアに見える状態

コントラストが低下した状態

クリアに見える状態

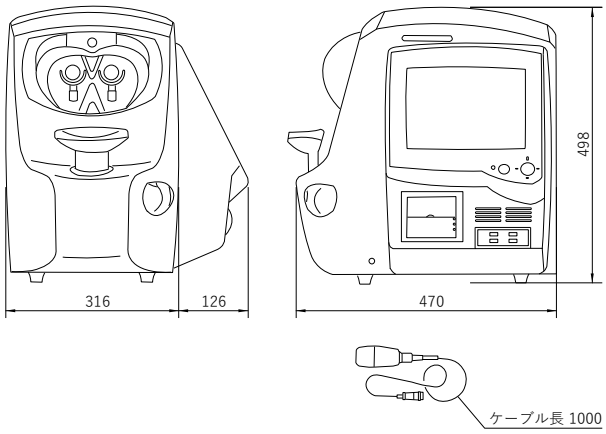
グレアにより見えにくい状態

仕様

販売名称	コントラストグレアテスターCGT-2000
検査距離	30 cm, 60 cm, 1 m, 5 m
背景の明るさ	明所、薄暮、暗所
グレア光の明るさ	L, M, Hの3段切換え
視標の種類	二重リング視標、正弦波視標
電源	AC 100-230 V, 50-60 Hz
消費電力	85 VA
重量	18 kg

寸法図

外形寸法（mm）



安全に正しくお使いになるために、「取扱説明書」をよくお読みいただいてからご使用ください。

●製品改良のため、カタログにある記載内容と外観は予告なく変更されることがあります。
●撮影時の光や印刷の色合いにより、カタログの写真と実際の製品の色は多少異なる場合があります。

機械器具22　検眼用器具　70092000　コントラスト感度測定装置　一般医療機器

CGT-2000　届出番号　20B1X10006000023

株式会社 タカギセイコー

本　社　〒383-8585
長野県中野市岩船330-2
TEL.(0269)22-4512
FAX.(0269)26-6321
https://www.takagi-j.com

東日本支店 ショールーム（TVC）　〒170-0013 東京都豊島区東池袋4-21-1
アウルタワー2階 205号室
TEL.(03)5615-9282
FAX.(03)5615-9283

西日本支店 ショールーム（TVC）　〒561-0833 大阪府豊中市庄内幸町5-19-8
TEL.(06)6334-4512
FAX.(06)6334-4521

販売代理店

PB(CGT-2000)J Rev.0 Printed in Japan 2026.10 OV